

美浜町社会福祉協議会

弥右エ門さん家

令和 元年度 小規模多機能型居宅介護サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月27日(17:25~18:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	4人	1人	5(1)人

前回の改善計画	利用前の情報を手書きでもいいため、書面でアセスを提示しておく。そこから、介護職員もその利用者の生活歴など個別の情報を足していくようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・しなければいけない、あったらいいなどは思っているも、他の職員任せになっておりできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	6	0	0	5(1)
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	4	1	0	5(1)
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	4	1	0	5(1)
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	3	2	0	5(1)

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・サービス開始前にはケアマネが本人、家族の希望を聞きケアプランに反映している。 ・サービス開始前に本人の情報を知りえている事は他の職員にその日のミーティングや内部会議で伝え、共有している。 ・お試しの通いや訪問ができるときは、職員の顔や、その場の雰囲気はわかってもらえる。 ・家族に通い時の様子をお伝えするときは、連絡帳に記入し、普段の様子を知っていただけるように働きかけをしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・サービス開始時には小規模のサービスの説明を行なっているが、特に金銭面で理解が十分でなく、すぐに利用終了となった方もおられた。 ・利用者の生活歴など、サービス開始時には利用者本人からの聞き取りが十分にできない場合もあり、情報が少ない中で支援しなければならない時もあった。 ・家族や介護者との関係はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・昨年できなかったが、新規の方から個人のプロフィール作りを始めていく。 現在利用している方は一月に2人分ずつ作成していき、情報を得た時点で常に書き足していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月27日(18:30~18:58)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	1人	1人	5(1)人

前回の改善計画

個別の利用者の「～したい」を言えない利用者が増えてきているが、日々のかかわりの中で寄りそうだけでも安心感を得られており、それは継続していき、日々の関わりの中でかかわった内容をミーティングで話し合い、振り返り次の対応に活かしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者によって、偏りがあったと思う。思っただけでうまく表現できない利用者に対して思いをつかみきれないことがあった。
- ・外出など、行きたいと希望があった時には迅速に計画をし、対応することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	1	5	0	5(1)人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	4	2	0	5(1)人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	2	0	5(1)人
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	4	2	0	5(1)人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者の「～したい」を引き出せるようにかかわっている。また、通いや訪問時に本人の希望を聞き取れるようにかかわりをもっている。
- ・その日そのときの様子、体調に合わせて作業をお願いしている。
- ・通い時の様子をモニタリング時、ケアマネから家族に伝えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者本人と、家族の希望が一致していない場合、どうしても家族の意見を優先してしまう。
- ・認知症のある利用者は、具体的な「～したい」を引き出せていないこともある。
- ・職員が少ない時こそミーティング時間をこまめにもっていたが、こまかな点までは振り返りできていなかった。
- ・本人の「～したい」という思いを聞くことは難しい。利用者本人もわからないことが多い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・個別の利用者の「～したい」を言えない利用者が増えてきている。日々の関わりの中で寄りそうだけでも安心感を得られているため、それは継続していき、日々の関わりの中で本人が選択しやすいように提示し、できるだけ本人の希望に近づけられるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月30日(17:38~17:50)

3. 日常生活の支援

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	2人	1人	3人	5(1)人

前回の改善計画
各職員が得た情報を、アセスメント以外で個人のプロフィール(職員が交代してもぱっと見でおおまかな利用者像が理解できるもの)を作り、情報を知り得た職員が付けたしをしていき、日々更新されるものを作成していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・しなければいけない、あったらいいなどは思っている、他の職員任せになっておりできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	4	1	5(1)人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	4	0	0	4(1)人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	1	5	0	5(1)人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	6	0	0	5(1)人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	6	0	0	5(1)人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・以前の暮らし方も、細かい点を含めると少しずつ把握できてきている。 ・本人に合わせた食事、入浴、排泄ではミーティングや内部研修でも利用者ごとに本人ができること、少し手伝えばできることなどを細かく特徴、癖なども把握し介護に携わっている。 ・本人の表情の変化や体調の変化も察知した職員がミーティングや介護記録で伝え他の職員も情報を得ることができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・以前の暮らし方では現在の暮らし方はアセスメントで知ることができるが以前の暮らしを知らない利用者もいる。昨年も個人個人のプロフィールを作成していこうと言うことになっていたが行なえておらず、プロフィールができると、職員の移動があっても情報を得やすい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・昨年の継続。少しずつでもプロフィールを記入していく。早速、明日から始める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 9 月 30 日 (17 : 50~18 : 15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	0 人	0 人	5(1) 人

前回の改善計画	家族や地域の方とのかかわりがある利用者は、通いや訪問を行ないながら支援を継続していく。地域の方との関わりがない利用者は、地域の方との会議の継続やコミュニケーションをとる等、かかわりの方法を探り支援を継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域とのつながりが希薄になっている利用者もいるし、認知症がすすんできた利用者もいるため、ケアマネにプランに入れてもらい地域とのつながりを継続できるように支援している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	3	3	0	5(1) 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	0	0	5(1) 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	2	1	5(1) 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	3	0	5(1) 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員や福祉委員から情報を得ている。また、家族以外で本人をよく知る地域住民から、弥右エ門さん家を利用する以前の様子について話を聞くことができた方もいる。 ・福祉委員会がある地域では協力を得られることはお願いしている。また、福祉委員会のなかで、事業所がかかわっていない時の様子なども聞くことができている。 ・チラシなどの配布物もできるだけ直接会って手渡しするようにしている。 ・利用者によっては遠方の親族とも希薄な方もいるため、事業所が時々連絡をして近況を知らせている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者によっては事業所が接していない時の過ごし方を把握しきれない方や、状態によっては地域とのつながりが少なくなっている方もいるため、難しい。 ・通い時など利用者本人から普段の暮らしについて聞いてはいるが全てを把握している訳ではない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・家族以外に仲の良い人やよく関わってくれている地域の方に情報を得るなどして理解を深めていき地域とのつながりの大切さを少しでも理解してもらえるように認知症出前講座を継続して行なっていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 9 月 30 日 (18 : 15～18 : 37)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 6 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	5 人	0 人	0 人	5(1) 人

前回の改善計画
必要に応じた、通い、泊まり、訪問の柔軟な対応を継続していくと共に、本人の思いや状態に合わせた支援を行なえるよう、情報の共有や話し合いの場を設けるよう努める。また、現在、つながりが持っている地域の力になる方との関係を継続できるよう努め、かかわりが持ていない地域については関係が持てるよう、足を運びつながりが築けるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・通い、泊まり、訪問を柔軟に必要なに応じて行なえている。・情報の共有を毎朝、ミーティングの時間をつくっているが、日によりできない時もある。・今年 4 月より地区担当職員が週 1 回、弥右エ門さん家勤務のため、今まで以上に情報の共有がしやすい。また、介護職員だけでは地域とのつながりについて把握し切れて居ないことも多かったが地域に出てもらい、その情報を共有するようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	0	0	5(1) 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	4	0	0	5(1) 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	3	0	0	5(1) 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	5	0	0	5(1) 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・事業所では対応しきれない困りごとに対して地区担職員から地域住民に協力を得てもらうことができた。・本人の状態変化に応じてケアマネが本人や家族にリハビリ、福祉用具の提案をすることができた。・日々のかかわりの中で本人の変化に気づき、介護記録やミーティング、報連相で情報を共有することができた。・本人の変化やニーズに合わせて柔軟に対応している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・地域との関係が希薄な利用者について地域の資源を使うことが難しい。・利用者がおらず福祉委員会もない地域は、地域の理解や把握が難しい。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・前回の計画を継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月30日(18:37~18:50)

6. 連携・協働

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	2人	3人	5(1)人

前回の改善計画	
子供が事業所を訪れやすいよう、次年度のイベントも子供が参加しやすいように工夫していく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・今年度、子供が参加するイベントを行っていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	0	1	4	5(1)人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	0	1	4	5(1)人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	2	3	5(1)人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	4	1	1	5(1)人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・福祉用具をレンタルしている利用者や介護保険の更新時の担当者会議は行っている。 ・地域ケア会議にはケアマネが参加している。 ・山上区の子供食堂には利用者とともに参加させてもらった。 ・地域との交流として、「まいどさんカフェ」を行ない、山上区の方たちが参加された。 ・登録利用者以外の高齢者は、利用者を訪ねてきたり、まいどさんカフェに参加されている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所に子供が訪れることはなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・担当利用者を決め、担当者会議には出席するようにする。 ・来年のバレンタインに「まいどさんカフェ・親子でバレンタイン」を計画する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月30日(18:50~19:10)

7. 運営

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	4人	0人	5(1)人

前回の改善計画	職員一人ひとりが事業所のあり方についてどんなところでどの職員でも同じように言えるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域の方とかかわる機会が少なく、言える機会がなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	1	4	1	5(1)人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	3	0	5(1)人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	3	0	5(1)人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	1	1	5(1)人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・モニタリング時、利用者家族などに事業所に対する要望を聞き職員には記録や口頭で伝えている。・地域の催し物の開催場所に困っている地域の方に、事業所の活用を提案することがあった。・まいどさんカフェを実施し、事業所に地域の方が集まれる機会がある。・行事のお知らせなど、参加のお知らせを配り、地域との関係作りをしている。また、地域内でお会いした時に話しかけ、顔馴染みになれるよう努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・事業所のあり方について他職員と共有できていない。・地域の方から事業所について苦情や意見を聞くことができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域と協働した取り組みを継続して行なう。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月30日(19:10~19:31)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	1人	0人	5(1)人

前回の改善計画	内部研修、合同研修への参加は継続し行い、外部の研修へも積極的に参加するよう務める。内部研修において、リスクマネジメントについての研修を継続して行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・リスクマネジメント研修は令和2年1月に予定している。・外部研修へは行けていないが内部研修、合同研修ともに行なっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	3	0	0	5(1)人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	1	4	0	5(1)人
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	0	5	5(1)人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	5	1	0	5(1)人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・内部研修、合同研修には参加している。・ケアマネは、ケアマネの資質向上のための研修は参加している。・利用者とかかわる時や送迎時、常にリスクを考え行動している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・外部の研修に参加する職員が限られている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・外部研修に参加した職員が現場で活かせることを内部研修で他の職員と共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年9月30日(19:31~19:43)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	0人	0人	5(1)人

前回の改善計画	身体拘束、虐待防止に努め、日々の振り返りの場となるよう積極的に研修に参加する。 個人情報の管理を行なう。
前回の改善計画に対する取組み結果	・毎年、合同研修を行ない、再確認している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6	0	0	0	5(1)人
②	虐待は行われていない	6	0	0	0	5(1)人
③	プライバシーが守られている	1	5	0	0	5(1)人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	1	1	4	5(1)人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	5	0	0	5(1)人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・夜間以外は玄関を施錠せず自由に外に出られるようにしている。・毎年、虐待の研修に参加し、知識の再確認をしている。・プライバシーが守られるようにカーテンや戸、パーテーションをし、配慮している。・実際に成年後見制度や日常自立支援の制度を利用している利用者はいないが必要に感じる利用者には担当の職員と連絡をとり家族や親戚に説明を行なうなどしている。・契約時にお便りやブログに写真を載せていいかも確認をとっている。・個人情報は外部に漏れないようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・全職員が成年後見制度について理解できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・地区担当職員に成年後見制度を学ぶ機会をもつ。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉協議会	代表者	高木 勝美	法人・事業所の特徴	海、山と自然が多く民家を改修しているため家庭的な雰囲気の中、今まで暮らしてきた地域との繋がりも大切に、一人一人が望む暮らしに近づけられるよう支援しています。また、地域の福祉拠点となるよう定期的に地域との交流も行なっています。今年度も地域との交流にまいどさんカフェを年数回、行なっています。
事業所名	弥右エ門さん家	管理者	田邊 紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	1人	0人	0人	3人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の改善計画自体を地域の方々にも評価しやすいように具体的にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価の前回の課題についての取組みで、ほとんどできていない職員が半数いるができる評価になるように頑張りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議では、特に意見はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を職員が実践しやすい内容にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者家族が来所された際、尿の臭いが少しすると指摘を受けた時がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が心地いい空間にすることは継続し、トイレ掃除の際、臭いが残らないように気をつける。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 現状の行事を可能な範囲で継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 東地区にお便りを出し、各地区のサロンに職員が参加し、知ってもらえるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 困り事や相談とあるが、事業所への相談か、家族からなのかわからなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> まいどさんカフェを若い世代が参加できる行事を計画する。また、現在行なっている行事にも参加してもらえるように周知していく。地区担職員も在中しているため、地域とのつながりを強くしていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状のかかわりを、可能な限り継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員から情報を得ている。また、地域住民から利用前の様子を聞くことができた利用者もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気がかりな方のかかわりを個人情報のあるため、運営推進会議のときに相談件数など、知らせようとすると運営推進会議でもわかるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の時に相談件数や、気がかりな方へのかかわりも知らせようとする。 ・サロンや地域の行事に利用者本人が希望する場合、弥右エ門さん家としても参加できるように支援していく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員が交代する際には、運営推進会議の目的など、記したものを持参し、会議の案内を渡す前に説明を行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議のときに困難事例があげられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で相談件数など報告しそのことに対して地域としてできることなど、意見をもらえるようにしていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害後の計画を作成し、それに基づいて訓練を行い、見直しをしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も2回、避難訓練を実施した。1回目は火災を想定した訓練実施。2回目は豪雨を想定し高台への避難を行なった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きても事業所は継続し運営はしていかなければいけないため、災害発生時、災害後にはどうするかも計画を立てていかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通い時の避難後の家族への連絡や対応について想定できることを考える。 ・事業所の避難場所など家族に知らせる。

